

学校ホームページにも掲載中

学校だより
No.11

月にみがきて

H20. 10. 10

更級小学校

10/26「縄文まつり全校参加」に向けて



10月3日は木を切り出し
窯に詰めてもらいました。
立ち木を倒すのも初めて。



10月7日
炭ができていました。

4年生は炭焼きを体験しました。毎年炭焼きの指導をいただいている仙石の金井さんのご指導のもと、木の実公園の学校炭焼き窯で炭焼きを体験しました。できあがった炭は、「焼き肉」など縄文まつりで活用する予定。金井さんがあらかじめ印をつけていただいた立ち木を、どんどん切って、切り出して、そこから始めた本格的な活動になりました。週が明けて7日火曜日、再び木の実公園へ行くと、見事に炭が完成していました。重たかった原木が軽くなり、太さも半分以下になっていることにも驚いている様子でした。4年役員の方にもお手伝いいただき、ありがとうございました。



6年生 土器づくり
集中し気持ちは縄文人？



6年生は土器作りに挑戦しました。

さらしの里歴史資料館で、翠川さんを始め館員の方の手際よい指導で2時間あまりで、各自見事な作品ができあがりしました。学校の教室とは違い、周囲に縄文時代の本物の土器があったり、生活の道具がある中で作ったこともあり、土器の上部を角のように立ち上げてみたり、土器に、貝殻を押し当てたりして、細かな模様をつけたりと、本物の土器に迫るような作品もありました。

製作の感想には、「縄文人はあんな土器をつくってすごい。」というのもありました。円光房遺跡から出土したすばらしい土器と自分の体験を比べ、より深く縄文の時代を味わえたように思います。製作のあとは、玄関の古代楽器演奏に興じたり、ふるさとのビデオを鑑賞したりと、身近な場所ですが、意外に何があるかを知らない様子でした。もっと歴史資料館に子どもたちが来なくてはと感じました。

学校では、9月の校長講話で「縄文人の生活」について児童のみなさんにクイズを出しています。ちょっと難しいのですが、図書館の細川先生が、縄文時代がわかる図書のコーナーを設けてくれたりして、調べて答えてくれる子も出てきました。縄文時代のことを少しでも児童のみなさんが知り、今年は参加できればと願っています。



縄文まつりへの参加のテーマも今年は児童会で決めました。

「縄文時代へタイムスリップ！」

来てくれた人に楽しんでもらえるまつりへ！」です。

自分たちも縄文時代の体験を思いっきりでき、また、さらしなの里に来てくれる人を大いにもてなしたい、という願いが込められています。

5年生は稲刈り。3年生はりんご学習がありました。稲刈りは農協の指導員の池田さんを始め、保護者の方々が大勢参加してくださり、首尾良く行うことができました。はぜかけしたお米を、児童がつくったカカシが見守ってくれています。脱穀の予定は20日(月)です。縄文まつりで収穫祝いの豊穰儀礼を務めるのは今年も5年生です。

3年生は仙石の大谷さんのリンゴ畑で自分の名前シールをリンゴに貼らせていただきました。リンゴに太陽がよくあたるように、どのようにしているかを大谷さんの説明を聞きながら体験させてもらいました。名前がつくまであと1ヶ月余りでしょうか。楽しみな学習をさせていただき感謝です。



10/2 こんなふうにはりました。

10/2 稲刈りは好天にめぐまれました。

【さらしなおばすて観月祭】全国俳句大会 3名が入選しました。
 「本てっ果ぼとりと落ちるりんごの実」 五年 TSさん
 「今度こそ線香花火最後まで」 六年 SMさん
 「ひまわりがおとなりさんとせいくらべ」 六年 NMさん